

日本最南端の大自然と文化のまち

たけとみちよう

竹 富 町



市町村コード	473812	類型	I-0
所在地	〒907-8503 石垣市美崎町11番地1		
T E L	0980(82)6191	F A X	0980(82)6199
ホームページ	http://www.town.taketomi.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農山村・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織)

(平成29年3月31日現在)

町長	にしおおますこうじゅん 西大舩高旬 任期 H32.9.13 (1期)	副町長	まえかがわけんいち 前鹿川健一 任期 H32.9.30 (1期)
副町長	-	教育長	おおたあやこ 大田綾子 任期 H30.9.30 (1期)

(概要)

県下 1 位		
総面積 H28.10.1	耕地 H28.7.15	宅地 H28.1.1
334.39 km ²	2,060 ha	1,789,225 m ²

県下 29 位		
住基人口 H28.1.1	H27国調人口	H22国調人口
4,239 人	3,998 人	3,859 人
年少人口割合 17.2% (県全体 17.4%)	高齢化率 20.2% (県全体 19.6%)	

住基世帯数 H28.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,360 世帯	2,122 世帯	2,000 世帯

有権者数 H29.3.2	男	女
3,462 人	1,790 人	1,672 人

議長	あらひろふみ 新博文	副議長	なかざとしゅんいち 仲里俊一
議員	条约定数 12 現議員数 11 常任委員会 総務財政、経済、議会運営	党派構成	公明 1 無所属 10 - - - - -
		任期満了日	H30.9.27

沿革

明治41年4月1日	勅令(46号)をもって八重山村を設置
大正3年4月1日	八重山村より分離村制施行
昭和23年7月2日	町制施行
-	-
-	-
-	-

H28.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	138 人	129 人	9 人
人口千人当たり職員数	32.55 人	30.43 人	2.12 人
各4.1現在	平成28年度	平成27年度	平成26年度
職員数(普通会計)	129 人	125 人	124 人
類似団体	-	87 (95)	85 (97)
ラス指数	93.5	92.2	90.7

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

(町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等)

町花	月桃(サミン)	町木	イヌマキ(キヤージ)
町鳥	アカショウビン	町魚	カスマアジ(ガーラ)
名所・旧跡	竹富島の町並み、マリュウドの滝、伊古棧橋、日本最南端の碑、由布島の水牛車、サキスマスオウの木		
祭り・行事	節祭、ムシャーマ、結願祭、種子取、豊年祭、牛まつり、やまねごマラソン、鳩間島音楽祭		
名産・特産	黒糖、黒毛和牛、もちきび、モズク、アーサ、ミンサー織り、マシゴ、パイ、泡盛、水稲		
姉妹都市	北海道斜里町(昭和48年1月盟約)		
その他	山中貞則胸像(名誉町民)、西表石垣国立公園、イリオモテヤマネコ(特別天然記念物)		

(基本構想)

基本構想	H22~H31	中長期財政計画	無
基本計画	H27~H31	(- -)	
実施計画	H28~H30	(3年計画 3年ローリング)	

(平成29年度主要事業)

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	竹富町西表東部第1区海底送水管更新整備事業	新規	1,017
単独	小浜集落施設新築工事	継続	255
補助	鳩間島留学支援多目的施設建築事業	新規	152
補助	沖縄県超高速ブロードバンド環境整備促進事業負担金	新規	19

(今後の主要プロジェクト)

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	波照間小中学校危険建物改築工事	H29~H30	1,622
補助	複合型福祉施設整備事業	H27~H33	1,896
単独	情報化推進事業	H29~H31	300
補助	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27~H33	97

(広域市町村圏・広域計画)

八重山広域市町村圏
-
-

(基地面積) (H28.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
異面積に占める割合	-

《教育》

(平成28年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
町立幼稚園	3園	65人
町立小学校	11校	284人
中学校	9校	106人
町立	9校	106人
町立以外	0校	0人

《医療》

(平成27年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
町立	0箇所	0床
町立以外	0箇所	0床
診療所	9箇所	0床
町立	4箇所	0床
町立以外	5箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《産業》

①産業別就業者数 (H22四半)

区分	就業者数	構成比
第1次	407人	17.9%
第2次	150人	6.6%
第3次	1,574人	69.4%
合計	2,268人	100.0%

②町内純生産

(H25年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	858	6.3%
水産	137	1.0%
鉱・製造	291	2.1%
建設	3,472	25.5%
電気ガス水道	99	0.7%
運輸・通信	310	2.3%
卸売・小売	646	4.7%
金融保険不動産	968	7.1%
サービス	4,726	34.7%
政府サービス生産者	1,857	13.6%
民間非営利団体	251	1.8%
合計	13,615	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H28.4.1)	-箇所	-人
町立	0箇所	0人
町立以外	0箇所	0人
生活保護率(H27年度平均)		10.33人
人口千人当たり		

《財政》

①決算収支

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度
歳入総額	9,049	8,537	6,133
歳出総額	8,493	8,076	5,668
形式収支	556	461	465
実質収支	414	312	410
比率	13.4%	10.3%	13.1%
積立金	70	131	191
積立金取崩額	0	0	0
実質単年度収支	124	51	365

②主要指標

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.15	0.15	0.15	30	0.35	0.51	0.29
標準財政規模 a	3,095	3,028	3,137	25	333,767	242,473	91,294
経常収支比率	73.4	79.8	78.0	5	85.3	86.4	82.6
人件費	31.8	31.7	27.9	26	23.4	22.6	25.4
扶助費	2.0	2.5	2.0	8	14.2	17.1	6.8
公債費	12.5	13.2	15.4	23	14.4	14.9	13.3
物件費	20.9	24.8	26.0	40	14.0	13.6	15.2
その他	6.2	7.6	6.7	1	19.3	18.2	21.9
実質赤字比率	-	-	-	/	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	/	-	-	-
実質公債費比率	6.8	5.4	4.7	5	8.7	9.3	6.9
将来負担比率	-	-	-	/	31.9	45.5	-
税徴収率	89.5	91.2	91.5	33	95.5	95.7	94.7
現年課税分	97.4	97.8	97.7	32	98.5	98.6	98.3
滞納繰越分	18.0	25.2	23.0	29	36.2	37.6	31.7
債務負担行為額 b	0	0	0	/	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	/	-	-	-
地方債現在高 c	4,982	5,738	6,103	/	-	-	-
c/a %	161.0	189.5	194.6	32	-	-	-
積立金現在高	3,683	3,877	4,253	/	-	-	-
財政調整基金	1,076	1,208	1,399	/	-	-	-
減債基金	589	595	608	/	-	-	-
その他特目基金	2,017	2,074	2,246	/	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	111,026	109,800	109,823	30	-	-	-
自主財源比率	14.0	14.6	20.9	29	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況

(H27年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	113	141	56
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	23	130	-
後期高齢医療事業	1	18	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
簡易水道事業	24	109	9
下水道事業	4	11	1
法非適	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④歳入の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	466	7.6%
地方譲与税	33	0.5%
地方交付税	2,711	44.2%
普通交付税	2,404	39.2%
特別交付税	307	5.0%
国庫支出金	247	4.0%
県支出金	940	15.3%
地方債	828	13.5%
その他	908	14.8%
歳入総額	6,133	100.0%

④歳出の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,049	18.5%
物件費	1,227	21.6%
扶助費	195	3.4%
補助費等	312	5.5%
公債費	524	9.2%
普通建設事業費	1,322	23.3%
補助事業費	952	16.8%
単独事業費	352	6.2%
その他	1,039	18.3%
歳出総額	5,668	100.0%

《行政の特色》

日本最南端に位置し、雄大な自然環境に恵まれた16の島からなる島嶼の町である。長い歴史の中にいづく素晴らしい文化遺産を継承発展させ、連帯感を深め、産業基盤の整備と充実した社会環境づくりを強化し、21世紀に伸びゆく豊かな活力ある町を築くため、「自然の生きるまちづくり」「文化のいづくまちづくり」「未来にはばたくまちづくり」を目標に掲げ、『日本最南端の大自然と文化の町』を標榜し取り組んでいます。